

表紙の写真: 壬生の花田植え(広島県北広島町) 裏表紙の写真: 御田植神幸式(熊本県阿蘇市)

目 次

1	伝統文化を	守り),	位	云之	える	5		•	•	•	•	•	1
2	春の祭事	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
3	夏の祭事	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
4	秋の祭事	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	28
5	冬の祭事	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	41
6	伝統祭事マ	w -	プ		•	•	•	•	•	•	•	•	•	54

伝統文化を守り、伝える

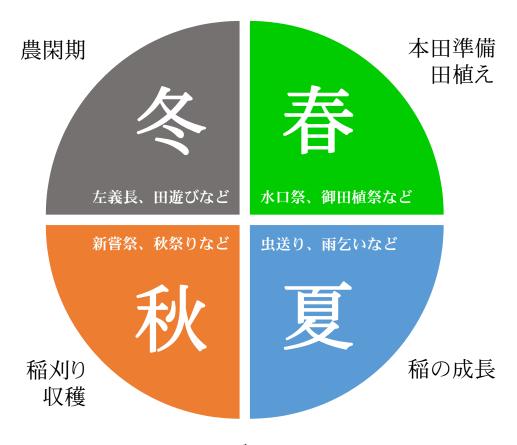
農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な食料を供給する役割だけでなく、水田や畑での生産活動を通じて、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成などのさまざまな役割(多面的機能)を有しています。

その役割の一つに、伝統文化を継承する役割があります。農村では、 長い歴史をもつ農業の営みを通じて、五穀豊穣を祈る芸能や祭り、農 業上の技術、地域独自の知恵などの文化が守られ伝えられています。

農業と季節の祭事

日本の年中行事や祭りの多くは、稲の豊作を祈る・感謝するなど農耕の祭事に由来しています。これらは、都会では失われつつありますが、農村では、農業活動を通じて、それぞれの地域で、季節に応じた様々な伝統的な行事や祭などが受け継がれています。

この冊子では、各地で受け継がれている農耕にまつわる祭事を「春、夏、秋、冬」の季節別に紹介しています。都市に住む方々にも、このような農村のお祭りに触れて、日本の歴史や文化を感じとってもらえればと思います。





代表的なお祭り

水口祭(みなくちさい)

苗代に籾を播く日に水口に土を盛り、季節の花や小枝を挿し、御神酒や焼米などを供え、山の神に豊作を祈ります。

御田植祭

田植えの時期に早乙女などが実際に田んぼに入って田植えなどの農作業を行い今年の農作業の無事や豊作を祈願します。

慶徳稲荷神社の御田植祭(福島県喜多方市)	•	•	•	•	•	•	3
近津神社の中田植(茨城県大子町)・・・・	•	•	•	•	•	•	4
間々田のじゃがまいた(栃木県小山市)・・	•	•	•	•	•	•	5
香取神宮の御田植祭(千葉県香取市)・・・	•	•	•	•	•	•	6
千万町神楽(愛知県岡崎市)・・・・・・	•	•	•	•	•	•	7
多賀大社の御田植祭(滋賀県多賀町)・・・	•	•	•	•	•	•	8
但馬久谷の菖蒲綱引き(兵庫県新温泉町)・	•	•	•	•	•	•	9
布施神社のお田植祭(岡山県鏡野町)・・・	•	•	•	•	•	•	10
壬生の花田植(広島県北広島町)・・・・・	•	•	•	•	•	•	11
神田祭り(高知県高知市)・・・・・・・	•	•	•	•	•	•	12
田代神社の御田祭(宮崎県美郷町)・・・・	•	•	•	•	•	•	13
せっぺとべ(鹿児島県日置市)・・・・・	•	•	•	•	•		14

慶徳稲荷神社の御田植祭【福島県喜多方市】





アクセス

JR磐越西線「喜多方駅」からタクシーで10分

会津縦貫北道路「喜多方IC」から 約7km

問い合わせ

喜多方市文化課 ☎ 0241-24-5323

毎年半夏生の日の7月2日(閏年は7月1日)、 慶徳稲荷神社で御田植祭が執り行われます。

御田植祭とは神田などで氏子が儀礼的な田植えを 行って豊作を祈る祭りのことをいいます。会津地方 の御田植祭は、近世以前に始まったものとしては北 限にあたり、伊佐須美神社の御田植祭(会津美里町) とともに、「会津の御田植祭」として国の重要無形 民俗文化財に指定されています。

会津の御田植祭では「デコ人形(田植人形)」と呼ばれる独特の人形が登場します。これは田の神の依代(よりしろ)とも考えられ、田植えの際には田の畦に立てられます。

開催時期 7月2日(閏年は7月1日)

開催場所 慶徳稲荷神社

(喜多方市慶徳町豊岡字不動前3213)

周辺情報

喜多方ラーメンや蔵で知られている喜多方市は、会津盆地の北にあり、周辺の山々からの豊富な湧き水と良質な土壌により、豊かな農村地帯が広がっています。

平成18年に全国の市では初めて「グリーン・ツーリズムのまち」宣言をしています。 ぜひ喜多方を訪れ、地域の自然や文化にふれ、地元の人々と交流を楽しんで下さい。

ちゅつじんじゃ ちゅうたうえ近津神社の中田植

だいごまち 【茨城県大子町】









中田植は、建久二年(1191年)より下野宮(しものみや)近津神社に伝わる御田植祭で、毎年夏至の日に行われます。夏至の日は昔の田植え時期の半ばにあたることから中田植と呼ばれています、

はじめに神殿で、修祓(しゅうばつ)、祝詞奏上、玉串奉てん、田植歌奉納などの神事を行った後、田植神事に入ります。神田にしめ縄が張られ、神官による修祓の後、太鼓、笛、鼓の奏楽に合わせて田植歌の唄われる中、十余名の早乙女によって田植えが行われます。

この日は神田の一部が一般の人にも開放され、訪れた人も自由に田植えに参加することができます。

開催場所 近津神社(大子町下野宮1626)

開催時期 毎年夏至の日

アクセス JR水郡線「下野宮駅」より徒歩5分

常磐道「那珂IC」から車で約70分

問い合わせ 近津神社 2 0295-72-8329

大子町観光協会 ☎ 0295-72-0285

周辺情報

祭りにあわせて、近津神社の境内では、参拝客と地元の方々との交流を兼ねた餅つきや中田植市(朝市)も開催されます。

前日には、境内で前夜祭として「宵灯籠」を開催しており、竹灯籠の柔らかい灯りの幻想的な景色を楽しめます。

間々田のじゃがまいた 【栃木県小山市】









小山市の間々田八幡宮にて、江戸時代から続く奇祭「じゃがまいた」が毎年5月5日に行われます。

じゃがまいたは、田植えの時期を前にして五穀豊穣と疫病退散を祈願する伝統行事で、およそ400年ほど前に始まったとされています。当日は、7つの自治会から竹やわらなどで作った全長約15mの「蛇体」が間々田八幡宮に集合。お祓いの後、若者らに担がれた計7体の蛇体が境内の池に次々に飛び込んで水しぶきを上げます。

その後、蛇体は各地区に戻り、「じゃがまいた」のかけ声とともに町中を練り歩きます。

開催場所 間々田八幡宮(小山市間々田2330-1)

開催時期 毎年5月5日

アクセス JR宇都宮線「間々田駅」西口から小山市コミュニティバス間々田線

または間々田東西線で約5分「間々田4丁目公民館」下車徒歩約5分

東北道「佐野藤岡IC」から約40分

(駐車場有り:間々田中学校:普通車約100台)

問い合わせ 間々田八幡宮 ☎ 0285-45-1280

周辺情報

間々田八幡宮の敷地は約2万坪におよび、一部は「間々田八幡公園」として整備されています。境内には、樹齢200年以上とされる「夫婦杉」があります。根本が一つで地上からは2本になっており、ほぼ同じ太さの2本の幹がまっすぐに伸びています。また、樹齢170年とされる市指定文化財の3本のコナラも見どころの一つです。

かとりじんぐう おたうえる

香取神宮の御田植祭

かとり (千葉県香取市)



その年の五穀豊穣を祈る香取神宮の御田植祭は、通称「かとりまち」ともいわれ、日本三大御田植祭の一つに数えられており、600年以上の歴史があるとされる伝統行事です。

御田植祭の1日目は耕田式で、拝殿前にて鎌・鍬・鋤・牛を使って田植え前の田んぼを耕す風景を模した儀式と、8人の児童による田舞や早乙女手代による植初め行事が奏されます。

2日目は田植式で、表参道を進む行列は、神職を先頭に肩車され大華傘で覆われた稚児や 田舞の女子など供奉者約100名で御神田へ向かいます。御神田では、稚児に代わり田植えを する早乙女手代が田植え歌を唄いながら苗を植え、昔ながらの風景が残されています。

開催場所 香取神宮(香取市香取1697)

開催時期 毎年4月第1土曜日と翌日曜日

アクセス JR成田線「香取駅」から徒歩25分

東関東道「佐原香取IC」から約1.6km

問い合わせ 香取神宮社務所 2 0478-57-3211

周辺情

香取神宮は、関東地方を中心に全国にある香取神社の総本社です。数多くの文化財を現代に伝えており、建造物では江戸期に建立された本殿、楼門が重要文化財に指定されています。

また、お隣の佐原地域には、中心部を流れる小野川沿いに江戸情緒が残る街並みが残っており「北総の小江戸」として有名です。

ぜまんじょかぐら

おかざき 【愛知県岡崎市】





開催場所

八剱神社(岡崎市千万町町字宮西) 開催時期

例年4月第3日曜日

アクヤス

新東名高速「岡崎東IC」より約20分 問い合わせ

(一社) 岡崎市観光協会 ☎ 0564-64-1637

千万町(ぜまんじょ)の神楽は、岡崎市千万町町の八剱(やつるぎ)神社で行われる祭礼で、毎年4月、豊作と悪魔祓いの願いを込めて神楽が奉納されます。

神楽は、嫁獅子神楽としては愛知県下で最も長い伝統があり、県の無形民俗文化財に指定されています。舞方・後持方・笛方・太鼓方・囃子方で構成され、褄(つま)模様に丸帯の女装をした獅子が御幣(ごへい)と鈴を持って、神前で「幕の舞」と「鈴の舞」を奉納します。

また、その後、町内の若宮社へ神輿渡御(み こしとぎょ)が行われ、若宮社南の広場でも舞 が奉納されます。

【写真提供: (一社) 岡崎市観光協会】

周辺情報

岡崎市石原町にある「くらがり渓谷」は、本宮山県立自然公園の南西部に位置しており、 春の新緑、夏の清流、秋の紅葉など四季折々の渓谷美が楽しめます。

渓谷沿いには、コテージやテント村、ログハウスやバーベキュー場なども整備されており、 アウトドアスポットとなっています。

をがたいしゃ おたうえさい 多賀大社の御田植祭

たがちょう 【滋賀県多賀町】



滋賀県多賀町の多賀大社では、毎年6月第1日曜、『御田植祭』が齋行されます。

この祭りは、多賀大社の御神田で行われる御田植祭りで、豊年講から選ばれた早乙女約70名が昔ながらの菅笠、紅タスキの姿に扮し、その年一年の豊年満作を祈願して御神田に田植えを奉納します。あわせて、御田植え踊りや豊年太鼓踊りなども奉納されます。

多賀大社は、「お多賀さん」で親しまれている延命長寿・縁結びの神様であり、町内には、 この多賀大社と縁の深い「胡宮(このみや)神社」「大瀧(おおたき)神社」があり、紅葉 の名所でもあります。

開催場所 多賀大社(多賀町多賀604)

開催時期 每年6月第1日曜日

アクセス 近江鉄道「多賀大社前駅」から徒歩10分

JR琵琶湖線「彦根駅」から湖国バス「国道多賀大社」から徒歩2分

名神高速「彦根IC」から車約10分

問い合わせ 多賀観光協会 2 0749-48-1553

周辺情報

多賀町は、多賀大社を中心に門前町として栄えてきた歴史薫る町ですが、ロマン溢れる星空が観察出来る「アストロパーク天究館(てんきゅうかん)」、何万年もタイムスリップしながらアケボノゾウの化石に出逢える「あけぼのパーク多賀」、カルスト地帯にできた石灰岩の洞窟「河内の風穴」など史跡と自然の観光を満喫することができます。

たじまくたに しょうぶつなひ

但馬久谷の菖蒲綱引き【兵庫県新温泉町】





兵庫県新温泉町の久谷地区では、毎年6月5日、豊作を祈願して「菖蒲綱引き」が行われます。

綱引きは、生の菖蒲やよもぎ、すすきを編みこんだ約40mの綱をおとな組と子ども組とに分かれて行います。勝負は、まず「石場つき唄」に合わせて綱を地面に打ちつけ、唄が終わってから「エイトー、エイトー」という掛け声をかけながら7回綱を引き合います。7回目の勝負を「納め綱」と呼び、この勝負でおとな組が勝つと、その年は豊作になるといわれています。江戸時代から日本海沿岸に伝わる綱引き行事の形態をよく伝える行事です。

開催場所 新温泉町久谷地区(新温泉町久谷)

開催時期 毎年6月5日 午後8時~

アクセス JR山陰本線「久谷駅」から徒歩5分

山陰近畿道浜坂道路「久斗IC」より車で5分 (久斗ICは豊岡方面出入口のみのハーフIC)

問い合わせ 浜坂先人記念館 20796-82-4490

久谷地区のある新温泉町は、その名の通り温泉が有名で町内には湯村温泉、浜坂温泉、七釜温泉の3カ所で温泉が湧きだしています。

また、町内には、同じく久谷地区に伝わる風流踊り「ざんざか踊り」をはじめ、雨乞いに由来する「傘踊り」や歌舞伎の影響を強く受ける「はねそ踊り」などの民俗芸能が伝承されているほか、2018年には「北前船寄港地、船主集落」、2019年には「麒麟獅子舞」が日本遺産に認定されています。

布施神社のお田植祭

かがみのちょう



鏡野町布施神社の境内で、毎年5月5日に、古式ゆかしく伝統的なお田植祭が行われます。 平安時代末期から続くとされる五穀豊穣を祈る神事で、別名「神田植」とも称されます。

当日は、頭屋になった地区が神社に集まり、境内を清める獅子練りの後、子供が牛に扮して行う「荒起こし」「代かき」、畦ぬりを行う「鍬代(くわじろ)」、榊の葉をちぎっては撒く「田植え」の神事が続きます。最後に殿様と従者(福太郎)が登場しておもしろいかけあいが繰り広げられ、会場は笑いに包まれますが殿様は決して笑いません。「殿様が笑うと、その年は不作になる」といわれているからです。

開催場所 布施神社 (鏡野町富西谷220)

開催時期 毎年5月5日

アクセス JR津山線「津山駅」から車約1時間10分

米子道「久世IC」から県道82号、56号で車約30分

中国道「院庄IC」から国道179号、県道56号で車約30分

問い合わせ 鏡野町富振興センター ☎ 0867-57-2111

鏡野町富地域は、日本古来の「たたら」製鉄が古くから行われてきた場所で、たたら 展示館では、たたら製鉄を詳しく紹介し、出土した遺物を展示しています。

また、白賀渓谷は約5kmという県下有数の規模を誇る渓谷で、ハイキングや渓流釣りで賑わいます。少し足を延ばせば「のとろ原キャンプ場」や県下で最も標高が高く大自然を眺望できる露天風呂のある「のとろ温泉天空の湯」があり、四季折々の自然が満喫できます。

きたひろしまちょう 【広島県北広島町】



毎年6月の第1日曜日、広島県北広島町で「壬生の花田植」が行われます。

花田植は、稲作の平穏と豊穣を祈るとともに、田植え作業を楽しくしようと生まれた行事で、壬生の花田植は、西日本に残る花田植としては最大の規模を誇り、初夏を彩る壮大な田園絵巻として知られています。

祭りでは、きらびやかに着飾った10頭を超える「飾り牛」が勢揃いして代かきを行い、太 鼓や鉦による迫力ある囃子にあわせて、赤い襷(たすき)や腰巻きで着飾った早乙女が田植 え唄を歌いながら早苗を植えていきます。

開催場所 北広島町壬生

開催時期 毎年6月第1日曜日

アクセス JR広島駅南口・広島バスセンターより、三次・庄原・東城行きの高

速バスに乗車し「千代田IC」で下車(約1時間)、隣接する「道の

駅舞ロードIC千代田」より会場までシャトルバスあり

中国道「千代田IC」から約1km(臨時駐車場:北広島町役場、アル

ゾ、壬生小学校)

問い合わせ 北広島町観光協会 ☎ 0826-72-6908

周辺情報

千代田ICの隣には、大きな太鼓が目印の「道の駅舞ロードIC千代田」があり、地元の新鮮なとれたて野菜が並ぶ広々とした産直市があり、食事も楽しめます。

また、北広島町には、約70もの神楽団があり神楽も盛んに行われ、地域に根付いた伝統芸能が大切に受け継がれています。

神田祭り(通称どろんこ祭り)

【高知県高知市】





問い合わせ 若宮八幡宮 ☎ 088-841-2464

神田祭り(どろんこ祭り)は、高知市長浜の若宮八幡宮で行われる400年以上の歴史を持つ五穀豊穣、無病息災を祈る春祭りです。

祭りでは、若宮八幡宮での神事のあと、儀式田で浴衣姿の早乙女たちが田植えを行います。田植えが終わると太鼓の音を合図に、女性達が男性の顔に泥をぬっていきます。泥をぬられた男性はその夏病気をしないといわれています。2日目、3日目は地元の福祉施設や保育園を訪問し、泥ぬりや踊りを披露しています。

開催場所 開催時期 アクセス

若宮八幡宮(高知市長浜6600) 毎年4月第1土曜日から3日間 JR高知駅から車で約25分、 高知龍馬空港より車で30分 高知道「高知IC」より車で30分

周辺情報

高知城下の追手筋で毎週日曜日に開催される日曜市は、300年以上の歴史があり、全長約1.3kmにわたって約400軒が軒を並べ、近郊農家を中心に新鮮な野菜や果物・植木等が販売されています。この日曜市には、市民や県外からの観光客等を含め、多くの人々が訪れ賑わっています。

世代神社の御田祭

みさとちょう 【**宮崎県美郷町**】



田代神社の御田祭は、主祭神彦火々出見命(ひこほほでみのみこと)の御神霊を田代神社よりお迎えし、上円野神社から中の宮田への御神幸により行われる田植祭です。

上円野神社の降神神事を皮切りに、「中の宮田」では牛馬や神輿入れの他、早乙女による 田植え神事が執り行われ、参詣者の無病息災と豊作を祈願します。

古い型の田植唄や幟持ちなど古風な習俗をとどめ、古式ゆかしい農耕作業が村落の共同作業であると同時に神事であったことを裏づけるもので、宮崎県の無形民俗文化財にも指定されています。

開催場所 御田祭の里ふれあい広場 (美郷町西郷田代)

開催時期 毎年7月上旬

アクセス JR日豊本線「日向市駅」から宮崎交通バス椎葉線で「美郷町役場前」

下車(開催期間中臨時バス有り)、指定駐車場あり(約2000台)

問い合わせ 御田祭実行委員会(町役場企画情報課内) ☎ 0982-66-3603

周辺情報

御田植の前日には前夜祭として、「ふるさとうまいもん広場」が開かれ、地元の特産 品販売や花火大会が行われます。

また、役場から御田祭の里ふれあい広場までの道路沿いに50軒ほどの出店が並び、町内をはじめ隣接市町から家族連れや浴衣姿の若者がたくさん集まり、とても賑わいます。

せっぺとべ

ひおき 【**鹿児島県日置市**】



「せっぺとべ」は文禄4年(約420年前)から日吉地域に伝わる「お田植え祭り」です。「せっぺとべ」とは鹿児島の方言で、「せっぺ」は精一杯、「とべ」は跳べ、という意味です。「こんなに一生懸命に土をこねて田植えをしますから、今年も大豊作でありますように」と、白装束姿の若者が肩を組み円陣を組んで御神田で唄を歌い、酒を飲みながら飛び跳ねます。

田の中で飛び跳ねるのは、土をこねる意味と害虫を踏み潰す意味があり、泥まみれになって今年一年の豊作を祈願します。

開催場所 日置八幡神社(日置市日吉町日置)、吉利鬼丸神社(日吉町吉利)

開催時期 毎年6月第1日曜日

アクセス JR鹿児島本線「伊集院駅」から鹿児島交通バス枕崎行きで15分、

「日置郵便局前」下車、徒歩5分(日置八幡神社)

伊集院駅より車で約15分(日置八幡神社)

問い合わせ 日置市商工観光課 ☎ 099-248-9409

周辺情報

日置八幡神社にほど近い「城の下物産館」は、日吉地域のアンテナショップとして特色ある素材を活かした特産品(緑竹・しんこ団子・農産物)などを販売しています。

日置市の西側に位置する吹上浜は、約47kmと日本一の長さを誇り、日本三大砂丘の一つです。また、アカウミガメの産卵地になっており、毎年6月~7月にかけて50頭近くが産卵のために上陸します。



代表的なお祭り

虫送り

松明(たいまつ)を灯し、害虫を結びつけたわら人形を流す、捨てるなどして、害虫を追い払います。

雨乞い

干ばつが続いた際に、踊りを奉納したり火を焚くなどして、雨が降ることを祈ります。

豊郷神楽(北海道網走市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
相内の虫送り(青森県五所川原市)・・・・・・・・	17
北川崎の虫追い(埼玉県越谷市)・・・・・・・・	18
岳の幟(長野県上田市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
ねつおくり(富山県南砺市)・・・・・・・・・・	20
横江の虫送り(石川県白山市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
門脇の雨乞踊り(岐阜県本巣市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
椎出 鬼の舞(和歌山県九度山町) ・・・・・・・	23
鹿子原の虫送り踊り(島根県邑南町)・・・・・・・	24
西祖谷の神代踊り(徳島県三好市)・・・・・・・・	25
御田植神幸式(熊本県阿蘇市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
四カ字豊年祭(沖縄県石垣市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27

とよさとかぐら

あばい (北海道網走市)





開催場所

豊郷神社神楽殿(網走市字豊郷319-2)

開催時期

毎年8月1日

アクセス

JR釧網線「鱒浦駅」下車から徒歩50分 女満別空港から豊郷神社まで車で20分 網走市内から豊郷神社まで車で15分 網走市の豊郷神社で、毎年8月1日、五 穀豊穣を祈る豊郷神楽が奉納されます。

豊郷神楽は、明治42年(1909年)に宮城 県からの入植者の中で伊勢神宮に伝わる 太々神楽と仙台神楽の手ほどきを受けた 人々を中心に、収穫を神に感謝し舞を奉納 し、お互いの活力を見出して行こうとした のが始まりで、以来100年以上に渡り一度も 休むことなく継続されています。

神楽は、神楽殿の四方を清め、悪魔を払い、種をまき、野に山に海に狩りをし、豊作を祈り、実りを感謝するという内容で、現在奉納神楽として踊られる神楽の演目は全部で12種あります。

問い合わせ

豊郷神楽保存会 ☎ 0152-44-3150

唐 辽 情 地 網走市豊郷地域は、じゃがいも、ビート、小麦・ビール麦を中心に生産する畑作地帯です。これらの作物が織りなす美しい農村景観に出会える「感動の径(みち)」は、小高い丘の上を通るルートで、網走湖、オホーツク海や知床連山を望める眺めの良さが評判のドライブコースです。

相内の虫送り

でしょがわら 【青森県五所川原市】



相内の虫送りは、田植えが終ってサナブリ(田植後の休日)となるこの時期に、稲作の障害となる害虫を追い払い、五穀豊穣と無病息災を祈願する行事です。

約450年の長い歴史があるとされ、津軽地方の虫送りの原型といわれています。

わらで作った虫人形を先頭にして荒馬と太刀振りが行列をつくり、市浦コミュニティセンター前を出発し、相内地区のすみずみまで門酒を飲みながら練り歩き、最後は使用された虫人形を相内神明宮の松にくくりつけて村の田んぼを守ります。

開催場所 五所川原市相内地区 開催時期 毎年6月第2土曜日

アクセス 津軽鉄道「津軽中里駅」よりバス25分「相内バス停」下車、徒歩すぐ

東北道「浪岡IC」から国道33号経由で約55km(約1時間10分) 駐車場あり(100台、無料、五所川原市市浦総合支所の駐車場)

間い合わせ 五所川原市観光物産課 2 0173-35-2111

周辺情報

相内地区のある市浦地域は十三湖の北にあり、五所川原市の飛び地となっています。 国道339号線沿いにある道の駅「十三湖高原」は、十三湖畔の高原牧草地にあり、360 度のパノラマで海と山が展望できます。ショップでは、十三湖名産の「ヤマトシジミ」 をはじめ、新鮮な地元産品が販売されています。

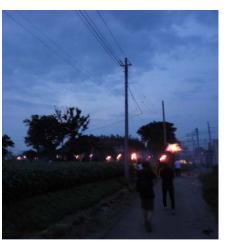
むしお

北川崎の虫追い

こしがや 【埼玉県越谷市】







虫追いは、越谷市の川崎神社で毎年7月24日に行われる、江戸時代から続く農村行事です。 寛政3年(1791年)の夏、天候不順により稲に沢山の虫がついたため、麦わらで作った松 明を燃やしながら田畑を回ったところ、虫がいなくなりその年は豊作になったという記録が 近隣の村にあり、この地域の虫追いもその頃に始まったと推測されます。

当日は、麦わらを束ねた長さ3mほどの大きな松明に火を灯し、鉦(かね)や太鼓を打ち鳴らしながら「稲の虫、ホーイホイ」と田んぼ道を練り歩き、稲につく害虫を追い払い、豊作を祈願します。

開催場所 川崎神社・北川崎集会所周辺(越谷市北川崎107周辺)

開催時期 毎年7月24日

アクセス 東武鉄道伊勢崎線「北越谷駅」発、茨城急行バス「松伏」下車、

徒歩約10分

問い合わせ 越谷市生涯学習課 2 048-963-9315

周辺情報

越谷市はベッドタウンとして都市化が進み、大きな商業施設もできていますが、郊外には水田地帯が広がっています。

市内に2カ所あるJAの農産物直売所「グリーン・マルシェ」では、越谷産の米や野菜、 花などが多数販売されています。また、いちごやブルーベリー、ぶどうなど季節のくだ ものが味わえる観光農園も12カ所あります。

【長野県上田市】











上田市の別所温泉では、毎年7月に、雨乞いの儀式「岳の幟」が行われます。

室町時代の大干ばつの時に、村人が夫神岳(おがみだけ)の山の神に雨乞いをしたら雨が 降ったことから、各家で織った布を奉納するようになったのが始まりといわれ、以来500年も 続いています。

祭りでは、長さ約6mの竹ざおに色とりどりの反物をくくりつけた幟の行列が練り歩き、 笛や太鼓のリズムに合わせて獅子舞やこども達によるささら踊りも披露されます。

国の選択無形民俗文化財に指定されている珍しいお祭りです。

開催場所 別所温泉街~夫神岳(上田市別所温泉)

開催時期 毎年7月15日に一番近い日曜日

アクセス 上田駅から上田電鉄別所線の「別所温泉駅」下車、徒歩約10分

> 上信越道「上田菅平IC」から国道144号→143号を西へ進み県道65号に 入る。神畑交差点を右折して、県道177号(コスモス街道)経由約30分

問い合わせ 別所温泉観光協会 ☎ 0268-38-3510

別所温泉は信州最古とされる温泉です。上田市の西南に広がる塩田平一帯は「信州の鎌 倉」と呼ばれ、鎌倉時代から室町時代にかけて造られた神社仏閣など、数多くの文化財が 残っており、塩田平は、美しい日本の歴史的風土準100選に選定されています。

また、雨の少ない塩田平は江戸時代より大小合わせて100ヶ所のため池が築造されており、 「塩田平のため池群」として農林水産省のため池百選に選定されています。

ねつおくり

なんと 【**富山県南砺市**】





開催場所 南砺市荒木地内

開催時期

毎年7月下旬(土用の三番)

アクヤス

JR城端線「福光駅」から徒歩10分 東海北陸道「福光IC」から約4km

問い合わせ

南砺市文化・世界遺産課

2 0763−23−2014

土用(立秋前の20日間)の三番、この日は、福 光地方の年中行事のひとつで、ねつおくりの奇習 が古くより伝わり今も行われています。子どもた ちが「ネツオクルバイ」と囃して笹竹で田んぼを 払い、「ジジ、ババ」と称する二体の神様を担ぎ 回し、稲の病害虫退治を願うものです。

現在この種の夏祭りで完全に近いものとして残るものはこの地方だけで、全国的に珍しい行事であり、約300年前から続いているこの伝統行事は地域の子どもたちの心をつないで受け継がれ続けています。

周辺情報

南砺市は、山間部の五箇山は世界文化遺産に登録された合掌造りの集落が知られており、平野部では、屋敷林に囲まれた家々が点在する全国でも珍しい散居村の風景が広がっています。

また、「ねつおくり」に合わせて、福光 商店街を中心に「福光ねつおくり七夕祭 り」が行われます。七夕飾りの歩行者天国、 大太鼓のねり打ちや民謡街流し、花火など 多彩なイベントが盛大に繰り広げられます。

横江の虫送り

はくさん 【石川県白山市】



虫送りとは、農作物の害虫を村境や川、海、山などに送り出し、その年の豊作を祈願する 農耕行事です。

「横江の虫送り」は、毎年7月の"海の日"の前日の日曜日に行われます。日没を迎えると、若者が担ぐ桶胴太鼓を先頭に行列が宇佐八幡神社を出発し、手に手に松明(たいまつ)を持った人々がそれに続きます。田んぼを一回りした後、参道に設けられた火縄アーチの下に集合します。一斉に太鼓の乱打が始まると、アーチに火が点火され、「虫送」の炎の字があざやかに浮かび上がります。若者たちは太鼓を打ち鳴らしながらその下をくぐって神社へ走り出し、境内の大かがり火が点火されます。舞い上がる火の粉と虫送り太鼓の競演は、一見の価値があります。

開催場所 白山市横江町内(宇佐八幡神社ほか)

開催時期 毎年「海の日」の前日の日曜日(2020年は「海の日」に開催)

アクセス タクシーで、JRの金沢駅から30分、松任駅から10分、美川駅から15分

北陸道「白山IC」から南へ10分

問い合わせ 白山市文化財保護課 2 076-274-9579

周辺情報

横江町は、手取川扇状地の北東端に位置し、古くは弥生時代から人々が暮らしてきた歴 史ある集落です。平安時代には、東大寺の荘園が設置され、東大寺領横江荘遺跡として、 国の史跡に指定されています。

かどわき あまごいおど

門脇の雨乞踊り

もとす 【岐阜県本巣市】





アクセス

JR大垣駅から樽見鉄道「樽見駅」下車、樽見駅よりうすずみ温泉四季彩館行きシャトルバス利用(四季彩館に要確認)東海環状道「大垣西IC」から国道21号、県道23号、国道157号を大野方面へ50km(「うすずみ温泉四季彩館」の駐車場を利用)

本巣市根尾門脇の八幡神社で、毎年9月、約700年前から続くとされる雨乞踊りが行われます。

元々は、この地に住み着いた源氏の武士達が、戦勝と武運長久を祈願する神事として八幡神社に太鼓踊りを奉納したのが始まりで、それをこの地の農民が引き継ぎ、雨乞踊りの神事へと変化したものであると伝えられています。

雨乞踊りは、太鼓と鉦(かね)を囲み、扇子を手にした里人が「掛け踊り」、「引き踊り」、「礼踊り」と歌いながら舞い踊ります。市の無形民俗文化財に指定されています。

開催場所 八幡神社(本巣市根尾門脇)

開催時期 毎年9月第3日曜日

問い合わせ 本巣市教育委員会社会教育課

☎ 058−323−7764

【写真提供:本巣市教育委員会】

唐 辺 情 越 根尾地域にある淡墨桜(うすずみざくら)は、樹齢1500余年、樹高17.3m、幹囲9.4 mの名桜で、満開はつややかな白、散り際には淡墨色になることからその名が付けられたと言われています。大正11年に国の天然記念物に指定されています。

八幡神社の近くにある「道の駅うすずみ桜の里・ねお」では、地元で採れた新鮮な野菜や山菜、農産加工品、お土産などが販売されています。

世出 鬼の舞

くどやまちょう 【和歌山県九度山町】









和歌山県九度山町の椎出厳島神社では、毎年8月16日、天災や悪疫の退散、五穀豊穣、また雨乞いを祈願して、夕方から「椎出鬼の舞」が奉納されます。

祭事では、十人衆と呼ばれる16歳以上の男の子から選ばれた10人が太鼓、笛、音頭取り、 小謡を行います。鬼は十人衆以外から選ばれ、当日まで誰が鬼役なのか伏せられます。髪の 赤い鬼が長い棒を振りかざし、太鼓や笛にあわせて繰り広げる舞は日没まで続きます。

室町時代から続くとされており、昭和39年に県の無形民俗文化財に指定されています。

開催場所 椎出厳島神社(九度山町椎出3)

開催時期 毎年8月16日 17時~

アクセス 南海高野線「高野下駅」から徒歩3分

京奈和道「高野口IC」から車で20分(駐車場なし)

問い合わせ 九度山町産業振興課 2 0736-54-2019 (代表)

周辺情報

九度山町は、真田昌幸・幸村父子が閑居した真田庵や世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された慈尊院、丹生官省符神社、高野山町石道があります。

また、名勝玉川峡をはじめとする豊かな自然に恵まれており、夏は鮎釣りやキャンプ、 秋は日本一を誇る特産品「富有柿」の収穫で賑わいます。

鹿子原の虫送り踊り

おおなんちょう 【島根県邑南町】





開催場所 三穂両神社、鹿子原集落内 (邑南町矢上)

開催時期 毎年7月20日

アクセス 浜田道高速バス「瑞穂イン ター」下車、おおなんバス 瑞穂インター線邑南町役場 行き約15分「鹿子原」下車。

行き約15分「鹿子原」ト車。 浜田道「瑞穂IC」から県道

327号経由で約15分。

問い合わせ 邑南町観光協会

2 0855−95−2369

鹿子原集落で、毎年夏に200年以上続けられている「虫送り踊り」。五穀豊穣を願う虫送り行事としては、古形を残す全国でも数少ないものといわれています。

花笠に浴衣、紅たすき姿の若衆が腰に太鼓をつけ乗馬姿のワラ人形を中心に繰り出し、独特の「虫送り唄」に合わせて行進し、町内各地で害虫退散を願い踊りを披露します。

最後に諏訪神社の境内で踊りを奉納し、虫が付いた短冊と花笠の飾りを焼き払うことで、 五穀豊穣と害虫退散を祈願します。

周辺情報

邑南町には豊かな自然と食を楽しめる 様々な観光スポットがあり、鹿子原集落 の近くには、景色の美しい「香木の森公 園」があります。

ここには、温泉や宿泊施設、ハーブ ガーデンや邑南町のA級グルメの発信拠 点レストランなど様々な施設があり、年 間をとおして楽しく過ごせる場所です。

でしいや じんだいおど 西祖谷の神代踊り

ゅっし 【徳島県三好市】







西祖谷の神代踊は、毎年旧暦6月25日に、三好市西祖谷の善徳天満宮で行われる夏祭りで 奉納される踊りです。

編み笠の男たちが笛や太鼓、鉦(かね)を打ち鳴らしながら小唄を歌い、雨降りを表すという紙飾りが付いた花笠をかぶった踊り子たちが、扇子を振りながら輪を作って踊ります。

踊りの起源は、平安時代、菅原道真が讃岐守(さぬきのかみ)であったときの干ばつ時に、 雨乞いを祈願して踊ったのが始まりだと伝えられています。

開催場所 天満宮神社(三好市西祖谷山村善徳)

開催時期 毎年7月~8月(旧暦6月25日)

アクセス JR土讃線「大歩危駅」下車、四国交通で約20分「かずら橋」下車、

タクシーで約30分

徳島道「井川池田IC」から国道32号・県道45号等で約80分

問い合わせ 三好市まるごと三好観光戦略課 ☎ 0883-72-7620

周辺情報

三好市西祖谷山村は、平家の落人伝説で知られる山深い「秘境」ともいえる地域です。 急傾斜の山の斜面に張りつくように広がる集落、吉野川の切り立った岩肌が続く大歩 危、祖谷川のかずら橋と渓谷など、見応えある観光スポットが各所に存在しています。

おたうえしんこうしき御田植神幸式

ぁぇ 【熊本県阿蘇市】



御田植神幸式は、国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つで、神様が稲の生育状態を見て回る、阿蘇神社最大の祭事です。一般的には「おんだ祭り」と呼ばれています。神様たちを乗せた4基のみこしを中心に、神様の食事を運ぶ全身白装束の宇奈利(うなり)、早乙女、馬に乗った神職らからなる約200人の行列が昼前に神社を出発。田歌に合わせてゆっくりと田園の中を練り歩き、夕方、神社に戻ります。

開催場所 阿蘇神社 (阿蘇市一の宮町宮地)

開催時期 毎年7月28日

アクセス JR豊肥本線「宮地駅」からバスで5分

九州道「熊本IC」から車で75分(駐車場あり)

問い合わせ 阿蘇神社 2 0967-22-0064

注:2019年時点では、熊本方面からのJRは運行停止となっており、 熊本方面からはバスで訪問する必要があります。

阿蘇のカルデラは世界有数の規模を誇ることで知られており、阿蘇神社のある一の宮 町はカルデラ盆地の中に含まれています。

阿蘇には美しい景観スポットがたくさんあり、なかでも阿蘇北外輪山の最高峰の大観峰は、阿蘇五岳に加え九重連山も望め、阿蘇の雄大な自然を満喫できるスポットです。

また、阿蘇の草原を活用した農業は、2013年に世界農業遺産に認定されており、貴重な草原性動植物が保全されています。

しかあざほうねんさい

四カ字豊年祭

いしがき 【**沖縄県石垣市**】









八重山の各島々では、旧暦の6月、今年の豊作に感謝し、来夏世(クナツユー)の五穀豊穣を祈願する豊年祭が開催されます。

石垣島の新川、登野城、石垣、大川地域が合同で行う四ヵ字豊年祭は、石垣島で行われる 豊年祭の中で最大規模であり、夏の風物詩です。

1日目(オンプール)には、今年の収穫に感謝する儀礼が各地域の御嶽で行われ、2日目 (ムラプール)は、新川にある真乙姥嶽(マイツバオン)で各団体の旗頭が奉納されるほか、太鼓や巻踊り、綱引きやツナヌミンなど様々な奉納芸能が賑やかに行われます。

開催場所 真乙姥御嶽まえ(石垣市字新川)

開催時期 毎年7月下旬~8月上旬

アクセス 石垣空港からリムジンバスで約30分、徒歩約15分

石垣空港から約15km、車で約20分

問い合わせ 石垣市農政経済課 ☎ 0980-82-1307

周辺情報

石垣島は美しいサンゴ礁とエメラルドグリーンの海に囲まれた美しい島です。石垣島で最も美しい場所といわれる川平湾は、島の西北端に面しており、グラスボートに乗って、海の中のサンゴ礁を観察することができます。また、川平公園の展望台から望む川平湾の風景も格別です。



代表的なお祭り

新嘗祭(にいなめさい)

新穀を神々に供え、その年の収穫に感謝する宮中祭祀の一つです。11月 に各地の神社でも収穫祭として行われます。

秋祭り

収穫に感謝して秋に開催される祭りの総称です。農村では田の神に感謝し、山へと送り出す祭りも行われます。

青沼どぶろく祭り	(茨城県行力	前市) ・	•	•	• •	•	•	•	•	•	29
表児の米(福井県	坂井市)・・		•	•	• •	•	•	•	•	•	30
大矢田ひんここ祭	(岐阜県美濃	貴市) ・	•	•	• •	•	•	•	•	•	31
どぶろく祭(岐阜り	県白川村)・		•	•	• •	•	•	•	•	•	32
勝手神社の神事踊	(三重県伊賀	(市)	•	•	• •	•	•	•	•	•	33
上神谷のこおどり	(大阪府堺市	<u>i</u>) • •	•	•	• •	•	•	•	•	•	34
ススキ提灯献灯行	事(奈良県御	所市)	•	•	• •	•	•	•	•	•	35
上淀の八朔綱引き	(鳥取県米子	产市) •	•	•	• •	•	•	•	•	•	36
ひょうげ祭り(香)	川県高松市)		•	•	• •	•	•	•	•	•	37
おしろい祭り(福	岡県朝倉市)		•	•	• •	•	•	•	•	•	38
抜穂祭(佐賀県鹿)	島市)・・・		•	•	• •	•	•	•	•	•	39
節祭(沖縄県竹富岡	町/西表島)		•	•		•	•	•	•	•	40





アクセス

JR鹿島線「潮来駅」から車で30分 東関東道「潮来IC」から約30分

問い合わせ

行方市商工観光課

2 0291−35−2111

行方市の青沼春日神社では、11月23日の例祭として「どぶろく祭り」が行われています。

約1200年前の平安時代初期に、奈良の春日神社から分祀した際に「どぶろく」を造って五穀豊穣を祈願したことが起源とされており、現在も4つの地区が順番に当番となり新米を使ってどぶろくを仕込みます。できあがったどぶろくは、祭り当日に、神前に供えて神事を行った後、参拝客にふるまわれます。

青沼春日神社は、酒類免許を取得している全国的 にも珍しい神社です。

開催場所 青沼春日神社(行方市青沼492-1) 開催時期 毎年11月23日

居 辽 情 執 行方市は日本有数のサツマイモの産地です。「なめがたファーマーズビレッジ」は、 廃校の校舎を利用してつくられた「見る」「食べる」「育てる」体験型農業テーマパー クです。サツマイモをメインにした「やきいもミュージアム」や「なめがたおいもファ クトリー」、地元の野菜や特産品などが並ぶオシャレな商業施設があります。

ひょうここめ

【福井県坂井市】









表児の米は、北横地地区に古くから伝わる神事で、この地を流れる十郷用水の恩恵を受け、 五穀豊穣に感謝するお祭りです。

神社でお祓いを受けて身を清めた若い衆数十人が、肩を組み合わせ、よいとこせ、よいやなと歌いながら、飛び上がり床を踏み鳴らす「おたしより」や臼(うす)の廻りに円陣を組み、「今かつ米は百姓の涙米・・・」と歌に合わせて杵で米を搗く「こめかち」を行います。ついた米は、たらいで米とぎしたのちせいろで蒸して、神前にお供えします。また、丸いもちにして神社の参拝者に分け与えます。

表児の米のもちは、家内安全、五穀豊穣、無病息災にご利益があるといわれています。

開催場所 布久漏神社及び表児の米研修会館(坂井市丸岡町北横地14-29)

開催時期 毎年9月14日以降の最初の土曜日(敬老の日の前々日)

アクセス JR北陸本線「春江駅」から徒歩20分

北陸道「丸岡IC」より約5分

問い合わせ 坂井市教育委員会文化課 ☎ 0776-50-3164

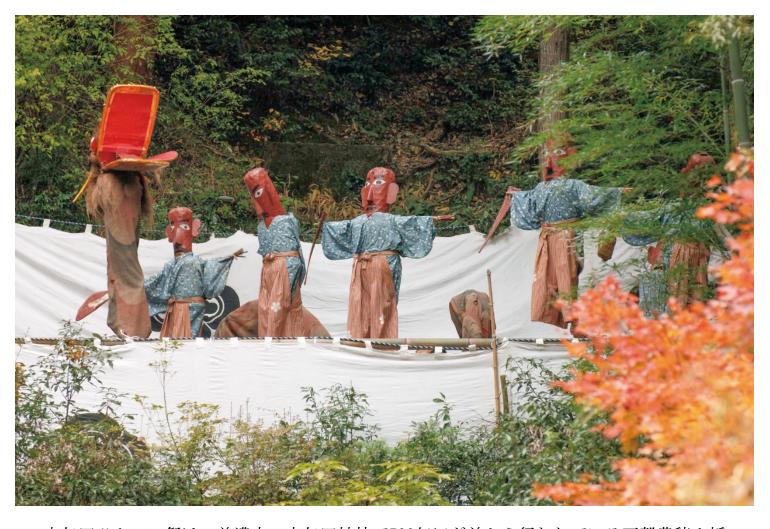
周辺情報

丸岡町は丸岡城の城下町として栄えた町です。丸岡城は小高い丘陵に築造された平山城で、江戸時代寛永期の建造とされる天守は国の重要文化財となっています。

丸岡町内にある越前竹人形の里では、竹人形の製作体験もでき、地元の農産物を使ったそば、味噌、油揚げなどのお土産品も揃っています。

大矢田ひんここ祭

。 【岐阜県美濃市】



大矢田ひんここ祭は、美濃市の大矢田神社で500年ほど前から行われている五穀豊穣を祈願する素朴な人形劇で、大矢田神社の祭礼日と紅葉期間中に演じられています。

ひんここ祭は、農民が麦蒔きをしているところへ大蛇が現れ農民に次々に襲いかかって飲み倒し、そこへ須佐之男命(すさのおのみこと)が現れて大蛇を退治するという物語を演じるもので、お囃しが「ヒンココ、チャイココ、チャイチャイ、ホーイ」と聞こえるところからこの名前がついたといわれています。

平成11年に国選択無形民俗文化財になりました。

開催場所 大矢田神社(美濃市大矢田2596)

開催時期 毎年10月第3土曜日の翌日曜日

11月第4日曜日(ひんここ祭の一部「ひんここの舞」の披露)

アクセス JR岐阜駅から岐阜バス高美線「大矢田神社前」下車、徒歩30分

東海北陸道「美濃IC」から、県道94号経由で約10分

問い合わせ 美濃市美濃和紙推進課 ☎ 0575-33-1122

【写真提供:美濃市役所】

周辺情報

大矢田神社本殿への登り口の石段から社殿東側一帯の楓谷(かえでだに)に至るまでの間に約3000本のヤマモミジ樹林があり「大矢田もみじ谷」と呼ばれています。ヤマモミジの自然樹林として国の天然記念物に指定されており、もみじの名所として毎年多くの観光客で賑わいます。

どぶろく祭

しらかわむら









白川郷では毎年、10月14日から19日にかけて、五穀豊穣・家内安全・里の平和を山の神様 に祈願する「どぶろく祭」が盛大に行われます。

白川村の3つの神社で、御神幸、獅子舞、民謡や舞踊などの神事が繰り広げられる歴史と 伝統ある白川郷ならではの祭りです。

その名のとおり、祭礼に神酒として「どぶろく」が用いられ、集まった人々にも振る舞われるのが最大の特徴です。

開催場所 白川八幡宮、鳩谷八幡神社、飯島八幡神社

開催時期 毎年10月14日~19日

アクセス 白川郷へは、愛知県名古屋市、岐阜県岐阜市、高山市、富山県

富山市、高岡市、石川県金沢市からのバスが運行しています。

問い合わせ 白川村役場 2 05769-6-1311

【写真提供:白川村役場】

周辺情報

世界遺産に登録されている白川郷には合掌造りの建物が建ち並んでます。その造りは、 養蚕を行う屋根裏のスペースが確保できるためといわれています。

冬には多く雪が降りますが、合掌造りの屋根は、水はけがよく、雪下ろしのしやすい 構造になっています。今でも20~30年に一度、屋根の葺き替えを行っています。

かってじんじゃ しんじおどり

勝手神社の神事踊

【三重県伊賀市】









三重県を代表する民族芸能に、羯鼓(かっこ・かんこ)と呼ばれる太鼓を胸につけて踊る 神事踊「かんこ踊り」があります。

江戸時代中期から田楽形式の羯鼓太鼓を肩からかけた豊年踊りとして行われており、悪疫 退散、雨乞いなどの祈りを捧げていました。

色とりどりの花をつけて垂らしたオチズイと呼ばれる飾りを背負い、胸につけた羯鼓を打 ちながらゆっくりとしたテンポの囃子に合わせて踊る姿は優美です。

2018年3月に国の重要無形文化財に指定されました。

開催場所 勝手神社 (伊賀市山畑482)

毎年10月第2日曜日 開催時期

アクセス JR関西本線「新堂駅」から車で約15分

名阪国道「壬生野IC」から車で10分

問い合わせ 壬生野地区市民センター ☎ 0595-45-8900 (平日のみ)

【写真提供:伊賀市役所】

伊賀は、伊賀流で知られる忍者の里です。伊賀流忍術はこの地で発展し、伊賀流忍者 は日本全国で活躍しました。

街の中央には上野城の敷地を使った上野公園があり、伊賀流忍者博物館、上野城等主 要な観光スポットが集まっています。

さかい 【大阪府堺市】

上神谷のこおどり



大阪府堺市の櫻井神社では、毎年10月5日に近い日曜日に「上神谷のこおどり」が演じられています。この踊りは、鉢ケ峯寺の氏神・國神社の旧暦8月27日の祭りに若衆によって演じられていたもので、國神社が、明治43年(1910年)に片蔵の櫻井神社に合祀されてからは櫻井神社の秋祭りで演じられています。

鬼が数十本の紙花(ヒメコ)を挿して背負った竹籠や、ここで歌われる踊り歌などに、室町時代の風流踊りの影響がうかがえます。かつて和泉地方に多く見られた雨乞い、雨礼踊りとして行われたものですが、秋祭りの芸能としても行われていたようです。

開催場所 櫻井神社(堺市南区片蔵645)

開催時期 毎年10月5日に近い日曜日

アクセス 泉北高速鉄道「泉ケ丘駅」2番のりばからバス、

「桜井神社前」または「片蔵」下車

阪和道「堺IC」より約10分

問い合わせ 櫻井神社 2 072-297-0043

周辺情報

堺市南区の南部には農地や丘陵地が広がっています。体験型農業公園「堺・緑のミュージアムハーベストの丘」は、春には菜の花、秋にはコスモスの花畑が広がり、羊やカピバラなどの動物とも触れあえる広場や様々な体験ができる教室があり、ソーセージや乳製品などのオリジナル商品も販売しています。

ちょうちんけんとうぎょうじ

ススキ提灯献灯行事

ご せ 【奈良県御所市】









奈良県御所市の鴨都波神社(かもつばじんじゃ)では、毎年7月16日(夏季大祭)と体育の日の前々日(秋季大祭)に、「ススキ提灯献灯行事」として、氏子の各自治会が五穀豊穣を祈願し、各自治会独自のすすき提灯を神社へ奉納しています。

祭りは、約30基のススキ提灯が葛城公園に集まり、鴨都波神社まで巡行します。境内では 自治会ごとにススキ提灯を練ったあと参拝し、最後には、鴨の宮若衆会によるススキ提灯の 練り回しが行われます。

開催場所 鴨都波神社 (御所市宮前町514番地)

開催時期 毎年7月16日と体育の日の前々日

アクセス 近鉄御所線「近鉄御所駅」、JR和歌山線「御所駅」より徒歩約5分

南阪奈道「葛城IC」から~県道30号線~御所市(15分)

京奈和道「御所IC」~御所市(10分)

問い合わせ 御所市観光協会 2 0745-62-3346

周辺情報

御所市は、奈良盆地の西南端に位置し、西には金剛山、葛城山がそびえ立ちます。葛城山は、夏のツツジ、秋のススキなど四季折々の美しい景色をつくりだします。

特に、『御所まち』は、江戸時代初期に形成された陣屋町です。伝統的な建物がたくさん並ぶ風情あるまちをぜひご覧ください。

た定の八朔綱引き

【鳥取県米子市】



この行事は、豊作や無病息災を祈願して綱引きを行う行事で、米子市淀江町福岡の上淀地 区で毎年八朔の日(旧暦8月1日)に近い9月第1日曜日に行われています。

当日は、集落の人々が天神垣神社に集まり、わらで「クチナワサン」と呼ぶ大蛇を作り、 できあがったクチナワサンを担いで天神垣神社境内に祀った荒神の神木の周囲をまわります。 その後、集落の通りに移動して上手・下手に分かれて綱引きを行い、豊凶を占います。上 手が勝てば山手の田が豊作になり、下手が勝てば下の田が豊作になるといわれています。

> 開催場所 天神垣神社及び上淀集落 (米子市淀江町福岡の上淀地区)

毎年9月第1日曜日 開催時期

アクセス JR山陰本線「淀江駅」より車で10分

米子道「淀江IC」より車で5分

問い合わせ 米子市淀江振興本部淀江振興課 ☎ 0859-56-3164

淀江町は豊かな自然に抱かれ、悠久の昔からの歴史と文化の香りあふれる古代ロマン を体験できる町です。

上淀地区にある「白鳳の里」は、埴輪づくりや火おこし等の古代体験ができる「伯耆 古代の丘公園」、文化財で歴史を学べる「上淀白鳳の丘展示館」、美肌の湯として人気 の「淀江ゆめ温泉」の3つの施設からなる一大レジャー施設です。

ひょうげ祭り



ひょうげ祭りは、江戸時代に水不足解消のため、新池を築造した矢延平六(やのべへいろく)の徳を偲び、水の恵みに感謝し、豊作を祝うお祭りです。

讃岐では、ふざけて踊ることを「ひょうげる」といいます。祭りでは、色鮮やかに化粧をし、仮装した大名行列が、浅野地区の集落研修センターから新池までの約2キロの道のりをひょうげながら練り歩き、最後には、若い衆の担ぐ神輿が水しぶきをあげて新池に投げ込まれ、祭りは最高潮に達しフィナーレを迎えます。

開催場所 高松市香川町浅野(浅野地区集落研修センター〜新池)

開催時期 毎年9月の第2日曜日

アクセス ことでんバス塩江線「竜満池」下車、香川総合センターまで徒歩5分。

香川総合センターより、行列の出発地点または到着地点まで無料送迎

バスが運行(13:00~17:00)。

無料の臨時駐車場:川東小学校グランド(13:00~17:30)

問い合わせ 高松市文化財課 2 087-839-2660

香川県はため池の数が日本で3番目、面積当たりのため池数では日本一です。祭りの行われる新池は、貯水量が120万m³と県下でも有数の規模を誇るため池です。

また、うどん県としても知られていますが、新池の近くにも多くのうどん店があり、 それぞれのお店で自慢の讃岐うどんが楽しめます。

おしろい祭り

あさくら 【福岡県朝倉市】







「おしろい祭り」は、収穫した新米の粉を水に溶いておしろいにし、顔に塗りつけるお祭りです。新穀の豊作を神に感謝し、来年の五穀豊穣を祈願する大山祇神社の伝統行事で、300年以上も続く全国でも類のない奇習とされています。

おしろいが顔によく付くほど、その次の年は豊作だといわれ、このおしろいは家に帰るまで洗ったり落としてはならず、火の中に入れると火事になり、帰って牛馬の飼料に混ぜて飲ませると無病息災だといわれています。

開催場所 大山祇神社(朝倉市杷木大山)

開催時期 毎年12月2日

アクセス JR久大本線「筑後大石駅」から車で約15分

大分道「杷木IC」より車で15分

問い合わせ 道の駅 原鶴 インフォメーションセンター

2 0946-62-0730

九州最大の一級河川筑後川に面する原鶴温泉は、源泉の数も多く、福岡県内では随一の湧出量を誇る温泉です。温泉の玄関口にある「道の駅 原鶴」では、周辺の観光情報などの提供のほか、駅内の物産館では地元でとれた新鮮な特産品の展示・販売が行われています。

かしま 【佐賀県鹿島市】



抜穂祭は、祐徳稲荷神社の御斎田(ごさいでん:神様に供える米を栽培する田んぼ)においてお供えする稲穂を刈り取るお祭りで、300年以上続く伝統行事です。

6月の「お田植祭」で植えられた稲穂を、早乙女姿の巫女たちが鎌で収穫します。最初に 御本殿で豊年の舞が行われます。その後に御斎田へ移動し、数人の巫女が豊年の歌を笛で奏 でながら、稲の収穫を行います。奉納されたお米の一部で甘酒が作られ、12月の新嘗祭のお 火たきで参拝客に振る舞われます。

開催場所 祐徳稲荷神社 (鹿島市古枝乙1855)

開催時期 毎年9月下旬~10月上旬

アクセス JR長崎本線「肥前鹿島駅」下車、鹿島バスセンターから

祐徳バスで15分「祐徳神社前」下車

長崎道「武雄北方IC」より国道34号線経由、国道498号線

より鹿島方面へ(3000台収容無料駐車場あり)

問い合わせ 祐徳稲荷神社 2 0954-62-2151

周辺情報

祐徳稲荷神社は、「日本三大稲荷」の一つに数えられている神社で、豪華で鮮やかな外観から「鎮西日光(ちんぜいにっこう:九州の日光東照宮)」と呼ばれています。本殿の先には奥の院へ向かって朱色の鳥居が続き、奥の院からは有明海まで一望できる絶景が広がります。

参道の門前商店街には、約400mの道のりに食事やお土産の店が立ち並びます。

いりおもてじま たけとみちょう 【沖縄県竹富町/西表島】





農作物の収穫を感謝し、来年の豊作を祈願する、節替わり の正月儀礼。西表島の節祭は、今から約500年前から伝承され たといわれています。

農作の感謝と五穀豊穣、健康と繁栄を祈願する祭で、毎年 旧暦の10月前後の己亥に行われます。祭りの2日目には世乞 い(ユークイ: 五穀豊穣をもたらす神を迎える神事)を行い、 神を迎えるための船漕ぎや奉納芸能が行われます。

開催場所 開催時期 アクセス

祖納公民館、前泊浜・干立公民館、前の浜 毎年11月頃(旧暦9~10月の己亥の日から3日間) 西表島上原港までは石垣港から高速船で約40~ 60分。上原港から祖納・干立地区は約8km、車 で約20分。干立・祖納間は約1km、徒歩約15分。

問い合わせ

竹富町観光協会 ☎ 0980-82-5445

【写真提供:竹富町観光協会】

島の9割が亜熱帯の原生林に覆われ、イリオモテヤマネコやカンムリワシなど多数の 天然記念物を有する自然豊かな場所です。

島には、大小合わせて約40の川が流れており、その多くの河口付近にマングローブを 有し、特に仲間川流域のマングローブは雄大です。



代表的なお祭り

左義長(さぎちょう)・とんど焼き

小正月に各地で行われる火祭りです。正月飾りなどを燃やし、その火で 焼いた餅などを食べて、新たな年の無病息災や五穀豊穣を祈願します。 田遊び

春の耕作開始に先立ち、新春にその年の豊作を祈って行う予祝行事です。 神社の拝殿などで田植えなどの農作業の様子を模擬的に演じます。

寒中みそぎ祭り(北海道木古内町)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42
似鳥のサイトギ(岩手県二戸市)・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	43
加勢鳥(山形県上山市)・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	44
三島のサイノカミ(福島県三島町)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	45
寺野のひよんどり (静岡県浜松市)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	46
ぞんべら祭り(石川県輪島市)・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	47
鳥羽の火祭り(愛知県西尾市)・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	48
砂かけ祭(奈良県河合町)・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	49
阿月の神明祭(山口県柳井市)・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	50
求菩提山のお田植祭(福岡県豊前市	i)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	51
苗代田祭(宮崎県高原町)・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	52
鉤引き祭り(鹿児島県鹿屋市)・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	53

きこないちょう 【北海道木古内町】



北海道木古内町の佐女川神社で、毎年、1月13日~15日にかけて「寒中みそぎ祭り」が開催されます。

みそぎ祭りは、天保2年(1831年)から続く五穀豊穣と豊漁を祈願する神事です。

毎年「行修者」と呼ばれる4人の若者が、1月13日から佐女川神社にこもり、何度も冷水をかぶって鍛錬を行い、15日には4体の御神体を抱いて厳寒の津軽海峡に飛び込み、水をかけあい洗い清める儀式です。

開催場所 佐女川神社、みそぎ浜、みそぎ公園(木古内町字木古内及び本町)

開催時期 毎年1月13日~15日

アクセス 鍛錬を行う佐女川神社まで、JR木古内駅から徒歩15分

水ごりを行うみそぎ浜まで、JR木古内駅から徒歩7分

みそぎ公園まで、JR木古内駅から徒歩5分

問い合わせ 木古内町観光協会 ☎ 01392-6-7357

同時に開催される寒中みそぎフェスティバルでは、14日の夜に打ち上げられる「冬花 火の舞」や参加者には記念品が配られる「みそぎ行列」が開催されます。

また、15日の「はこだて和牛魅了フェア・物産フェア」では、木古内町特産「はこだて和牛」を使用した「こうこう汁」や地場の食材をふんだんに使用した「みそぎ鍋」など心も体も温まるグルメが楽しめます。

似鳥のサイトギ

【岩手県二戸市】







サイトギは、二戸市の似鳥八幡神社で行われる伝統行事で、その年の作柄を占うとともに、 五穀豊穣と無病息災を祈願するお祭りです。

サイトギとは、井桁に組んだ高さ約3mの木のやぐらのことです。祭りは、オコモリ、水ごり、裸祭り、火祭りで構成されます。火祭りでは、燃えさかるサイトギを男衆が長い木の棒で揺さぶり、炎と火の粉を高く舞い上げます。この火の粉の舞う方向とオコモリ(炊いた五穀を剣状に盛り、凍らせたもの)の状態で作柄を占います。

火の粉が北側に流れた場合や、オコモリが崩れていたり、虫がついていると凶作になるといわれています。

開催場所 似鳥八幡神社(二戸市似鳥字林ノ下37)

開催時期 毎年1月下旬~2月中旬(旧暦1月6日)

アクセス 東北新幹線、いわて銀河鉄道線「二戸駅」より車で約10分

八戸道「浄法寺IC」または「一戸IC」から車で約15分

問い合わせ 二戸市観光協会 ☎ 0195-23-3641

周辺情報

二戸駅に隣接した二戸広域観光物産センター「カシオペアメッセ・なにゃーと」は、北東北3県の交流・連携のシンボルとして誕生した施設で、二戸市を中心とした岩手県北、青森県南、秋田県北東、19市町村の特産品が多数そろっており、高さ31mの展望タワーは360度のパノラマを楽しめます。

かせどり 上山市民俗行事 **加勢鳥**

かみのやま 【山形県上山市】





加勢鳥は、五穀豊穣、家運隆盛をもたらす歳神様をお迎え する行事で、今から約400年前の江戸時代初期(寛永年間)に 始まったとされる、上山伝統の民俗行事です。

祭りでは、「ケンダイ」というワラでできたミノをかぶった若者が上山城から市内を練り歩き、所々で輪になって踊ります。集まった人々は、加勢鳥たちに手桶から祝いの水を勢いよくあびせ、五穀豊穣や商売繁盛を祈ります。

開催場所 上山城(祈願式)~上山市内(上山市元城内)

開催時期 毎年2月11日

アクセス 祈願式が開催される上山城まで、JR奥羽本線

「かみのやま温泉駅」から徒歩約10分

問い合わせ 上山市観光物産協会 2 023-672-0839

上山市内には6地区に温泉が点在する「かみのやま温泉」があります。最も歴史の古い湯町地区や、城下町の面影が残る新湯地区、閑静な高台にある葉山地区など、それぞれに特徴ある温泉巡りを楽しむことができます。

また、日本有数のワイン用ぶどうの産地で「ワインの郷」としても注目されています。

みしままち 【福島県三島町】

三島のサイノカミ





開催場所 三島町内各所・11地区程度 (福島県大沼郡三島町)

開催時期 毎年1月15日

アクセス JR只見線「会津宮下駅」 磐越道「会津坂下IC」から 車で25分 (18km) 古くから五穀豊穣、無病息災、村中安全を祈願する伝統行事で、国指定の重要無形民俗文化財に登録されています。

毎年1月15日に実施され、御神木(ゴシンボク)と呼ばれる木を山から伐り出し、燃え草を巻き付けて柱とし、御弊(オンベ)と呼ばれる縁起物を取り付けて立てます。夕刻に点火し、オンベに火が点くと縁起が良い、燃えたススを身体の悪い部分に塗ると良くなるとも云われています。

この行事は町の人々によって今日まで守り伝えられ、近年では「日本で最も美しい村」連合加盟の登録資源にもなりました。

問い合わせ 三島町観光協会 20241-48-5000

周辺情報

三島町は福島県の西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川沿いにある山間の町です。 只見川に沿ってJR只見線が走り、渓谷と鉄道が織り成す四季折々の風景を見ることがで き、道の駅「尾瀬街道みしま宿」近くにある第一只見川橋梁ビューポイントは、近年、 日本人のみならず外国人観光客が多く訪れる場所として注目されています。

寺野のひよんどり

はままつ 【静岡県浜松市】



浜名湖に注ぐ都田川水系流域の山間地には、正月に五穀豊穣などを祈念して行われる修正会にちなんだ「ひよんどり・おくない」と呼ばれる民俗芸能が点在していています。寺野のひよんどりはその中の代表的な民俗芸能の一つです。

寺野のひよんどりは、1月3日に浜松市北区引佐町渋川の宝蔵寺観音堂で開催され、前段は伝統的な神楽系の舞楽、後段は猿楽田楽系・田遊び系の演目によって構成されています。なかでも日没後、クライマックスで披露される鬼の舞は、堂内で松明の火花が散るほどの豪快さで、最大の見どころとなっています。「ひよんどり」とは火踊りが訛ったもので、寺野では1570年(元亀元年)頃からはじまったといわれています。

開催場所 宝蔵寺観音堂(浜松市北区引佐町渋川877)

開催時期 毎年1月3日

アクセス JR浜松駅から遠州鉄道バス渋川行で約90分、終点「渋川」~徒歩30分

三遠南信自動車道(三遠道路) 「渋川寺野IC」より車で3分

(「寺野渋川IC」は浜松方面出入口のみのハーフIC)

問い合わせ 浜松市文化財課 2 053-457-2466

周辺情報

引佐町は、大河ドラマにもなった戦国時代の女城主井伊直虎のゆかりの地です。直虎が治めた井伊谷には井伊家の居城であった井伊谷城跡(現・城山公園)があるほか、竜宮小僧の伝説で知られ日本の棚田百選にも選ばれている「久留米木の棚田」があります。周辺の川名、滝沢、懐山、神沢の地域にも「ひよんどり・おくない」が、東久留女木にはその一部が伝承されています。

ぞんべら祭り

わじま 【石川県輪島市】



ぞんべら祭りは、輪島市門前町の鬼屋神明宮にて、田の荒おこしから田植えまでの行事を神前で模擬的に行って、豊作を祈る田遊び行事で、約700年前から続くとされています。

お祭りの中では「ぞんぶり(水音のザブザブの意)」という文言が繰り返されることから「そんべら祭り」と呼ばれるようになったと伝えられています。

開催場所 鬼屋神明宮(輪島市門前町鬼屋)

開催時期 毎年2月6日

アクセス のと鉄道七尾線「穴水駅」から北鉄奥能登バス門前行きで

「門前」バス停まで35分。バス停からは徒歩で20分。

北陸道「金沢森本IC」または「金沢西IC」より能登方面へ、のと里山海道を通り「穴水IC」から門前方面へおよそ30分。

問い合わせ 輪島市門前総合支所地域振興課 ☎ 0768-42-8720

能登半島北部に位置する輪島市門前町は、海を望み、山を抱く、奥能登の豊かな自然があふれたところです。門前町の町名の由来は、總持寺祖院が曹洞宗の本山であった頃の名残です。

また、奥能登最後の秘境といわれる猿山岬では、3月中旬~4月上旬にかけて、白や赤、ピンクなどの愛らしい雪割草が一面に咲き乱れ、日本有数の群生地となっています。

とばの火祭り

にしま 【**愛知県西尾市**】



鳥羽の火祭りは、鳥羽神明社で毎年2月の第2日曜日に行われる火祭りで、その起源は約1200年前とされており、2004年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

祭りは、境内に設置された高さ5mの2基の松明「すずみ」に、福地と乾地のふたつの地区に分かれ「神男」が火を点火、古い幟(のぼり)で作った衣装に身を包んだ「奉仕者(通称「ネコ」)」たちが、炎の中に果敢に飛び込み「すずみ」の中心に納められた「神木」と「十二縄」を福地・乾地どちらが早く取り出すかを競い、その年の天候・豊凶を占います。

開催場所 鳥羽神明社(西尾市鳥羽町西迫89)

開催時期 每年2月第2日曜日

アクセス 名鉄蒲郡線「三河鳥羽」駅下車、徒歩約10分

東名高速「音羽蒲郡IC」から約40分、「岡崎IC」から約60分

問い合わせ (一社) 西尾市観光協会 0563-57-7882

【写真提供: (一社) 西尾市観光協会】

西尾市吉良町にある華蔵寺(けぞうじ)は、臨済宗妙心寺派の禅寺で、忠臣蔵で有名な吉良上野介義央の曾祖父、義定が先代義安の菩提を弔うため慶長5年(1600年)に創建された高家吉良家のお寺です。

華蔵寺の吉良家墓所には義安以下代々の墓が建ち並んでおり、地元では今なお名君として慕われている義央の命日である12月14日には毎歳忌(まいさいき)法要が行われ、たくさんの参拝客が訪れます。

かわいちょう 【奈良県河合町】



奈良県河合町の廣瀬大社では、毎年2月11日、豊作を願って砂をかけ合う奇祭「砂かけ祭」 が開催されます。

祭りは、午前の「殿上の儀」と午後の「庭上の儀」の二部構成になっていて、砂のかけあいは「庭上の儀」でおこなわれます。境内に忌竹を立てしめ縄を張って御田を設け、氏子が扮した牛と田人が鋤く所作をし、松葉でつくった苗を植えます。参拝の人々は牛役などに砂をかけ、田植えに必要な雨が充分に降るように祈願します。

砂を盛んにかけ合うほど、田植えの時期に雨がよく降り、豊作になるとされています。

開催場所 廣瀬神社 (河合町川合99)

開催時期 毎年2月11日

アクセス JR大和路線「法隆寺駅」下車 東南方向に3km、徒歩30分

西名阪道「法隆寺IC」より約5分

問い合わせ 廣瀬神社 (廣瀬大社宮司 樋口俊夫) ☎ 0745-56-2065

周辺情報

廣瀬神社のある河合町は、川合大塚山古墳群・馬見丘陵古墳群など約60基の古墳があります。そのほかにも、縄文時代の遺跡や大和川の沿いの古い町並みなど、味わい深い歴史スポットです。農作物では、水稲のほか、イチゴやブドウの栽培が盛んです。

阿月の神明祭

である。 【山口県柳井市】





問い合わせ 柳井市観光協会 ☎ 0820-23-3655

阿月神明祭は、毎年2月11日に、柳井市の阿月地区で開催 される豊作を祈る壮大な火祭りで、国の重要無形民俗文化財 に指定されています。

早朝から身を清めて白装束をまとった若者たちが、高さ約20mの御神体を東西に2本起し立てて祭りが始まります。

御神体のまわりでは、昼夜2回「神明踊り」が奉納され、 刀や槍を巧みに使った武者踊りが披露されます。最後には、 御神体に火が放たれ、御神体が引き倒されて、祭りは幕を閉 じます。

開催場所

阿月東西神明宮前 (柳井市阿月)

開催時期

毎年2月11日

アクセス

JR柳井駅から、宇積行きまたは池ノ浦行き のバスで約20分「青木」下車〜徒歩5分 山陽道「玖珂IC」より車で約40分

周辺情報

柳井駅から近い市の中心部には、江戸時代の商家が立ち並ぶ「白壁の町並み」があります。この町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、白壁の町並みを中心とした観光スポットを無料で案内するボランティアガイドもあります(予約制)。

ス菩提山のお田植祭

ぶぜん 【福岡県豊前市】









修験道の山として知られる求菩提山では、かつて山伏が「松会(まつえ)」と呼ばれる五穀豊穣を祈る祭礼を行っており、そのうち今に伝えられる田行事が「お田植祭」です。

お田植祭は、その年の豊作を予め祝う予祝祭で、求菩提山の国玉神社中宮前の広場にて毎年3月に行われています。畔ぬり、田鋤き(張子の牛で馬鍬を引く)、種蒔きなど、田植えにまつわる一連の農作業の様子を松役という演者や子どもたち(稚児・早乙女)が御神歌に合わせてユーモラスに演じます。

開催場所 求菩提山 国玉神社 中宮前広場(豊前市大字求菩提)

開催時期 毎年3月の最後の日曜日(29日を越えない)

アクセス JR日豊本線「宇島駅」から豊前市バス「求菩提資料館前」まで約30分、

会場まで徒歩約45分

東九州道「豊前IC」から車25分、駐車場有り:50台(無料)

問い合わせ 豊前市生涯学習課 2 0979-82-1111

求菩提山は、豊前市のほぼ南に位置する標高782mの山です。かつて修験道のメッカであった山中には、当時を偲ぶことができる多くの遺構が残されており、国の史跡に指定されています。

国玉神社の近くには、修験道遺品を数多く収蔵展示した資料館やバンガローやログハウスもあるキャンプ場もあり、求菩提山の歴史や自然を味わえます。



苗代田祭は、約500年前から高原町の狭野神社(さのじんじゃ)に伝わる春の農耕神事で「ベブがハホ」と呼ばれています。

この地方の方言でベブは牛、ハホは主婦のことで、この両者を中心に代かき、種まきなどの農耕を模した所作が演じられます。

当日は、狭野神社拝殿にて神事が行われ、その後、拝殿横の田を見立てた場所で約一時間、 正午頃まで行われます。祭りのはじめと終わりには神官による厳粛な儀式が執り行われます が、祭りでは、地区住民が代かきから種蒔きまでの一連の農作業をユーモラスに演じます。

開催場所 狭野神社(高原町大字蒲牟田117)

開催時期 毎年2月18日

アクセス JR吉都線「高原駅」から車で約10分

宮崎道「高原IC」から車で約13分

問い合わせ 高原町観光協会 2 0984-42-4560

狭野神社では、苗代田祭のほかにも、御田植祭(5月)、狭野神楽(12月)などの祭 祀が行われています。

国道223号線沿いにある農産物直売所「杜の穂倉」では、地元の農事組合法人が生産 した農産物を使用して、栽培から収穫、加工まで一貫生産のオリジナル商品(うどん、 お酒など)や霧島山系の湧き水で育てたお米を販売しています。

ゕのゃ 【鹿児島県鹿屋市】



鹿屋市上高隈町の中津神社境内で行われる「鉤引き祭り」は、300年以上の歴史をもつ五穀豊穣、子孫繁栄、無病息災を願う伝統行事です。

鉤引きは、高限地区の大黒・高限の両町内会の青壮年たちによって、二股の雌木とかぎまたの雄木をからみ合わせて自分の陣地に引き込めば勝ちとなります。先に2勝した方が勝ちとなり、豊年になるとされているため、大きな掛け声にあわせ力いっぱい引き合う姿は壮観です。

鉤引きの前には、棒踊りや田起こし、代かき(木牛を使う)、播種・餅まき行事などが奉納されます。

開催場所 中津神社(鹿屋市上高隈町759)

開催時期 毎年2月の第3日曜日

アクセス 鹿屋バスセンターからバスで25分、高隈バス停から徒歩で3分

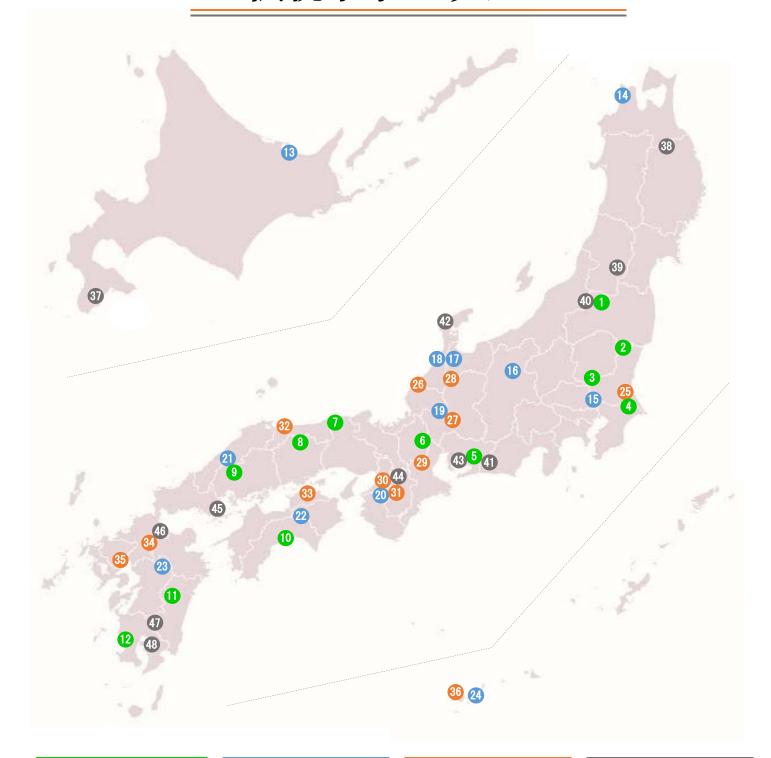
東九州道「野方IC」から10分

問い合わせ 鹿屋市観光協会 ☎ 0994-41-7010

中津神社にほど近い「たかくま石蔵館」では、鉤引き祭りにあわせて、地元のコミュニティ協議会により「鉤引き産業市」が開催されます。

地元のお米、野菜やくだものほか、竹で作ったとっくりなども販売され、うどんやそばの食事コーナーもあります。

伝統祭事マップ



春の祭事

- 1 慶徳稲荷神社の御田植祭
- 2 近津神社の中田植
- 3 間々田のじゃがまいた
- 4 香取神宮の御田植祭
- 5 千万町神楽
- 6 多賀大社の御田植祭
- 7 但馬久谷の菖蒲綱引き
- 8 布施神社のお田植祭
- 9 壬生の花田植
- 10 神田祭り
- 11 田代神社の御田祭
- 12 せっぺとべ

夏の祭事

- 13 豊郷神楽
- 14 相内の虫送り
- 15 北川崎の虫追い
- 16 岳の幟
- 17 ねつおくり
- 18 横江の虫送り
- 19 門脇の雨乞踊り
- 20 椎出鬼の舞
- 21 鹿子原の虫送り踊り
- 22 西祖谷の神代踊り
- 23 御田植神幸式
- 24 四ヵ字豊年祭

秋の祭事

- 25 青沼どぶろく祭り
- 26 表児の米
- 27 大矢田ひんここ祭
- 28 どぶろく祭
- 29 勝手神社の神事踊
- 30 上神谷のこおどり
- 31 ススキ提灯献灯行事
- 32 上淀の八朔綱引き
- 33 ひょうげ祭り
- 34 おしろい祭り
- 35 抜穂祭
- 36 節祭

冬の祭事

- 37 寒中みそぎ祭り
- 38 似鳥のサイトギ
- 39 加勢鳥
- 40 三島のサイノカミ
- 41 寺野のひよんどり
- 42 ぞんべら祭り
- 43 鳥羽の火祭り
- 44 砂かけ祭
- 45 阿月の神明祭
- 46 求菩提山のお田植祭
- 47 苗代田祭
- 48 鉤引き祭り



「農村の伝統祭事」(令和2年1月) この冊子に対するお問い合わせは、下記担当までご連絡下さい 農林水産省農村振興局地域振興課多面的機能班 ☎ 03-6744-2081



農林水産省ホームページ(農業・農村の多面的機能)